

1. 件 名 : 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所及び大洗研究所の原子力事業者防災業務計画の修正の検討及び核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時 : 令和2年8月4日 13:30~15:30

3. 場 所 : 原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者
原子力規制庁 緊急事案対策室
児玉企画調整官、宮地防災専門官、落防災専門官、平野室長補佐、前澤専門職、岡村係長、和田専門職
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括部 危機管理課 マネージャー 他6名（テレビ会議システムによる参加）

5. 要 旨
○原子力事業者防災業務計画の修正の検討
日本原子力研究開発機構から、原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所及び大洗研究所の原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明があった（資料1、資料2、資料3）。
 - ・ 原子力防災要員等の派遣、資機材等の見直し（3事業所共通）
 - ・ 地図中の敷地境界の適正化（別図-3など）（原子力科学研究所）
 - ・ 原子力防災資機材の保管場所の変更（原子力科学研究所）原子力規制庁より、原子力防災要員等の派遣、資機材等の見直しについて、具体的な派遣先及び数量を記載するように伝えた。
日本原子力研究開発機構から、修正するとの回答があった。

○核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の事前説明
日本原子力研究開発機構から、令和2年9月8日に予定されている核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料4に基づき以下の説明があった。
 - ・ 今年度訓練の目的
 - ・ 主な検証項目
 - ・ 訓練の項目・内容原子力規制庁より、第12回原子力事業者防災訓練報告会（7月28日）で

示した「令和2年度原子力事業者防災訓練の評価の進め方」に基づき訓練計画を確認した結果、中期計画上の今年度訓練の位置づけ、今年度の訓練目的、達成目標、主な検証項目が明確にされていないため見直すよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、訓練計画を見直し再度説明するとの回答があった。

6. その他

- 配布資料：資料1 原子力科学研究所 原子力事業者防災業務計画の修正
(日本原子力研究開発機構)
- 資料2 核燃料サイクル工学研究所原子力事業者防災業務計画
(修正) 新旧対照表 (日本原子力研究開発機構)
- 資料3 大洗研究所原子力事業者防災業務計画 (修正) 新旧対
照表 (日本原子力研究開発機構)
- 資料4 令和2年度核燃料サイクル工学研究所原子力防災訓練
(総合訓練) について (日本原子力研究開発機構)